夢を応援基金

～東日本大震災奨学金制度～

2011年度活動報告

元気になろう日本
夢を応援基金
LAWSON

制度概要

名称	「夢を応援基金」(東日本大震災奨学金制度)
奨学金	月額30,000円(給付、返還不要)
奨学生	約1,097名（2011年9月奨学生決定時）
目的	本奨学金は、2011年3月11日に発生した東日本大震災(以下「本震災」という。)によって経済状況が急変、または悪化し、就学継続が困難な状況にある、日本国内の高等学校及び高等専門学校(1~3年)、並びに高等専修学校に在籍する生徒に対し、大学など上級学校卒業までの間、奨学金を給付することにより、経済的不安を緩和し、学習効果を高めることを目的として寄与するものです。
運営体制 （2012年6月末現在）	基金創設団体：　株式会社ローソン 基金運営事務局：　特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム
外部制度検討委員会	委員長　田村 哲夫 氏　学校法人渋谷教育学園理事長 委　員　大久保 和孝 氏　新日本有限責任監査法人CSR推進部長パートナー公認会計士 株式会社新日本サステナビリティ研究所 常務取締役 齊藤 英行 氏　株式会社教育新聞社 取締役編集局長 林 恵子 氏　特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル 理事長 浅 野学 氏　株式会社ローソン 顧問 谷地 希名 氏　特定非営利活動法人チャリティ・プラットホーム 副代表理事
支援の内容	■ 月額3万円の奨学金給付(返還不要) ■ 進路相談・就労支援・ボランティアや専門家によるサポート(予定)
対象者	高等学校、高等専門学校(1~3年)、高等専修学校に在籍する生徒 ※募集当時の中学3年生に関しては、「予約奨学生」(下記参照)となります
対象地域	岩手県・宮城県・福島県
応募資格	下記(■)の条件をすべて満たし、なお、AまたはBのいずれかに該当すること ■ 本震災時に家計を支える方が対象地域に居住しており、同地域の学校に通学していた生徒 ■ 学校の推薦を受けることができる品行方正な生徒 ■ 夢をかなえるために、意欲と根性があり、東北の復興への貢献を希望している生徒 ＝＝ A.本震災により家計を支える方が死亡・行方不明・負傷病気・失業等の被害を受け、経済的事由により就学が困難な状況が見込まれる生徒 B.本震災により住居していた住宅が半壊・半焼または床上浸水以上程度の被害を受け、または計画的避難区域になっているなど、経済的事由により就学が困難な状況が見込まれる生徒
支給期間	2011年9月より高校・高等専修学校卒業または専門学校・大学などの上級学校(大学院除く)卒業までの最大7年間 ※2011年度は、2011年9月から2012年3月までの7ヶ月間。以降、毎年進学時に更新手続き有り
注意事項	(1)受給者は、奨学金の返還義務を負いません。また、奨学金提供者(株式会社ローソン)への入社等その他の付帯義務を負うものではありません。 (2)受給者が、次のいずれか1つに該当した場合には、受給決定が取り消されます。 ・応募書類および推薦書類の記載事項に虚偽が発見された場合 ・この制度(要項)に定める事項に該当しなくなった場合 ・通学校で処分を受ける等、奨学生として適当で無い事実があるなど、学業や素行などの状況により「品行方正」では無いと判断される場合
予約奨学生	2012年4月に高等学校、高等専門学校、高等専修学校に進学を希望(予定)している中学3年生が入学する前に奨学金を予約する制度です。上記応募資格等は同様とし、選考の上予約奨学生とし、高等学校等入学後、在学証明の提出をもって実際の給付となります。

「夢を応援基金」運営協力企業

株式会社教育新聞社
運営のための様々なご協力をいただいております

認定特定非営利団体ブリッジフォースマイル
運営のための様々なご協力をいただいております

株式会社七十七銀行
奨学金等の振込に関する手数料の一部を
免除いただいています

株式会社東邦銀行
奨学金等の振込に関する手数料の一部を
免除いただいています

株式会社岩手銀行
奨学金等の振込に関する手数料の一部を
免除いただいています

初年度活動概要

2011年3月11日。忘れもしない東日本大震災。被災地の状況の把握も困難な状態が続く4月下旬、株式会社ローソン様（以下、ローソン）より、被災生徒を対象に、来年春に高校生になる子どもたちが大学を卒業するまでの最長7年間、奨学金を支給したいというお申し出をいただき、ローソンの冠プロジェクトとなる夢を応援基金プロジェクトが、チャリティ・プラットフォーム内に立ち上がりました。

それから3カ月後の7月末までに、事務局には2,400通の奨学生申請書が届きました。1通ごとに、想像を絶する被災の状況に触れ、一方で、課題であった「二十歳になった自分の1日を切り取った日記」に書かれた文章を読み、困難を乗り越えて夢に向かおうとする力強さを感じました。

対象者予定約1,000名決定のために、選定の作業は外部制度検討委員会も含め、何度も何度も関係者間での協議を繰り返し、約1ヶ月半の間続きました。

9月には予定を約100名超えた1,097名の奨学生が決定し、震災から半年後の10月、「一刻も早く、必要とされる方々に奨学金を届けたい」というローソン様の想いが月額3万円の給付型奨学金として届けられました。

同時に、今回残念ながら奨学金支給の対象とならなかった生徒（応募条件を満たしていた方）の方にも、奨学金の1カ月分である3万円と、ローソンで使用できるプリペイドカード6千円分が一時支援金として支給されました。

その他、奨学生を中心としたサポートプログラムを行い、当奨学金の奨学生たちが、夢に向かって進んで行くための支援を実施いたしました。

基金の創設者であるローソン、そしてローソングループの店頭募金にてご協力をくださった多くの皆様、寄付つき商品等でのご協力をいただいた企業の皆様、そしてオンライン寄付によりご寄付をいただいた個人の皆様に、活動のご報告と併せまして、心より御礼申し上げます。

夢を応援基金の主な活動		
2011年	3月	東日本大震災発生
	4月	夢を応援基金創設
	5月	■ 全国のローソン各店で店頭募金を実施（～8月） ■ ローソン各店舗にて、寄付つき商品の販売を開始（その後随時実施）
	7月	■ 被災地（岩手県、宮城県、福島県）の高等学校、高等専門学校、中学校等に奨学生の募集を告知 ■ 奨学生を募集
	9月	1,097名の奨学生が決定（応募総数2,400名）
	10月	■ 第1回目の奨学金を支給 ■ 奨学生とならなかった生徒には、支援金3万円とローソンプリペイドカード6千円分を進呈
	11月	旺文社様からのご寄付と寄贈により、奨学生募集時に申請書を提出した学生が在籍する高等学校、高等専門学校、中学校全358校に対し、『それでもいまは、真っ白な帆を上げよう』を2冊ずつ寄贈（合計718冊）
	12月	ローソングループ社内募金の受付開始（給与天引き制度）
2012年	2月	ローソン主催による、被災3県の高校生を応援する夢を応援基金「スペシャル講演＆ライブ2012」を仙台市で開催。約700名が参加
	3月	■ 全国のローソン各店で店頭募金を実施 ■ 奨学生のうち、高校2年生及び高校3年生を対象に、自立支援ハンドブックを配布 ■ 基金奨学生募集時に、申請書を提出した学生が在籍する高等学校及び高等専門学校に対し、自立支援ハンドブックを寄贈
	4月	奨学生の更新手続を実施
	5月	予約奨学生（申込時に中学3年生で、新高1）への奨学金支給開始

サポートプログラム実施報告

2011年11月旺文社より、応募対象学校358校に本の寄贈がされました。

寄贈された、『それでもいまは、真っ白な帆を上げよう』は、3.11東日本大震災直後に行われた、日本全国の大学・高校の卒業式での学長・校長のお話の中から、心にずしりと届く、勇気が出ることば・感動メッセージを紹介している本です。この本の売り上げの一部夢を応援基金への寄付としていただき、さらに、被災地の先生、生徒の方々、保護者の方々にも読んでいただきたい内容であることから本そのものの寄付をお願いしましたところ、合計716冊の寄贈をいただき、被災地の中学校・高等学校へと届けられました。

2012年2月ローソン主催による■スペシャル講演＆ライブ2012■開催

サポートプログラムのイベント第1弾として、ローソン主催による「スペシャル講演＆ライブ2012」が開催され、岩手県・宮城県・福島県の当基金奨学生をはじめ、高校生の方々が招待されました。当日は、700名を超す皆様を前に、第1部では学生時代を振り返り、どんな夢を描いてどのような日々を過ごしていたのか、奨学生4名も登壇し事前アンケートで寄せられた質問を投げかけながら、音楽プロデューサーの小林武史さん、歌手の一青窈さん、そしてローソンの代表取締役社長である新浪剛史さん、取締役副社長の玉塚元一さんによる対談が行われました。第2部では、ミニライブが行われ、一青窈さんの力強く美しい歌声が、会場に響き渡りました。

2012年3月自立支援ハンドブックの配布

設立に多大な協力をいただいたNPO法人ブリッジフォースマイルの代表、林恵子さんによる著書「ひとり暮らしのハンドブック　巣立ちのための60のヒント」。児童養護施設から社会に巣立っていく準備の本として書かれたものですが、一人暮らしや仕事、保護者からの自立にあたり、知っておくべき大切なことがたくさん詰まっているため、夢を応援基金バージョンとして編集をし、昨年度の高2及び3年生の奨学生を対象に、配布いたしました。
役立つ内容がいっぱいで、ぜひ兄弟にも買いたいと保護者の方からのお問い合わせもいただきました。

奨学生から皆様へのありがとう

■募金していただきありがとうございます。私たちはみなさんに支えられたくさんご支援していただいたおかげで前を向くことができています。（高3）■津波で自宅を流され現在は仮設で生活しています。幼い頃からの夢に向かって私なりにがんばっています。前に進める希望を与えてくださった皆様のご支援に感謝します。ありがとうございます。（高1）■被災し今まで当然あったものが、いかに脆いものか知りました。そして、自分以外のものを思う尊い力を知りました。どなたか知りえない方々の力をお借りして今、自分磨きをしています。それが思いを返す唯一の方法だと思いますので。みなさんありがとう。（高2）■本当に有難うございました。何とか踏ん張ります。（高1）■募金をして頂いて、ありがとうございました。本当に助かりました。皆様のお金を無駄にしないよういつか、社会に貢献できるよう頑張ります。（高3）■震災で希望をなくしかけていた、僕が希望を夢をまた抱くことが出来たのは、募金をして下さった皆さんのお陰です。ありがとうございます。（高1）■募金をしてくださった皆様へ。被災し先のめどが全くたたず不安な日々を過ごしていましたが、皆様の温かい励ましや支援のおかげで前向きにがんばってこれました。本当に心から感謝しています。（高1）■この度の震災には多くの方々が心温かなご支援をして頂きとてもありがたく感謝致しております。この御恩は決して忘れずこれから少しずつ歩んで行きたいと思っています。本当に有り難うございました。（高3）■皆さんの温かいご支援のおかげで第一志望の大学に合格でき夢に近づくことができました！本当にありがとうございました。（高3）■みなさんのおかげで安心して夢にむかって頑張っています。たくさんの愛情をありがとうございます。（高2）■お陰さまで、安心して受験する事が出来ます。皆様のご厚意を裏切る事なく、看護の道に就けるよう努力したいと思います。本当に有り難うございます。（高3）■真心に必ず応えて、人を救える人になります（高2）■アリガトーございます！これからも将来の夢である看護士になるために頑張りますのでどうぞこれからも宜しくお願いしますm(__)m（高1）■皆さんのおかけで、震災後に資金面で諦めかけていた大学進学という夢をまた追いかけることができるようになりました。本当にありがとうございます。（高2）■ご支援ありがとうございます。自分の夢に向って邁進いたします。今後万が一何かの災害の際はわたくしも協力していけるよう頑張っていきます。（高3）■たくさんの募金ありがとうございます。震災を乗り越えて気仙沼のために一生懸命勉強して復興したとき、多くの観光客を連れてこれるように頑張りますので、これからもお願い致します（高3）■皆様の温かいお気持ちのお陰で、学校生活有意義に送っています。本当に有難う御座います。（高1）■宮城県に有名な方々が来て下さっても私は会ったことがなく、このような出会いの場をつくっていただけたことにとても感謝しています。本当にありがとうございます！（高2）■今回、私達東日本大震災の被災者への募金をしていただき、ありがとうございます。住む家もなくなり、かなり辛い生活が続いて、毎日不安な日々が続きましたが、募金してくださった皆様のおかげで不安な日々を忘れられるような日々を送っています。（高3）■募金のおかげで私も含めて多くの人が奨学金を頂けることになり将来の希望につながったと思います。募金をしていただきありがとうございました。（高1）■みなさんの募金のおかげで進学できなかった私が進学することができました。これから私は夢である助産師になるため、復興のために頑張っていきたいと思います。そしてみなさんに恩返しをしたいと思います。（高3）■ご支援いただき本当にありがとうございます。震災から10か月以上が経過しましたが、おかげ様で通常通りの学校生活を送らせていただいております。皆様のご支援にこたえるよう学業に専念していきたいと思います。（高2）■いつも援助していただきありがとうございます。皆さまのお力をお借りして、未来をより良いものにしていきたいと思います。これからもよろしくお願い致します。（高1）■この度のご支援ありがとうございます。これから先、勉強に励んでいきたいとおもいます。将来人の役にたつ人になりたいです。（高3）■募金してくださった皆様方本当にありがとうございます。この奨学金がなかったら高校の授業費などが払えるかわかりませんでした。本当に感謝しています。募金してくださった皆様方の期待に応えられるようより一層の努力をしていきたいと思います。（高1）■この東日本大震災で日本も大変ななか、みなさんの募金によってわたしを含めたたくさんの奨学生が助かっています。みなさんの想いをしっかり受けとって、自分の将来に向かって一歩ずつ焦らず進んでいきます。本当にありがとうございます。（高2）■おかげさまで大学進学を目指し勉強に集中しています。応援してくださる方々に感謝し、人の役に立つ社会人になりたいです。（高2）■この度の地震の影響で原発事故が起こってしまい、いまだに家族は他県に避難中です。自分は、高校卒業後地元に戻り就職し、親を手伝うつもりで居ました。進学は諦めていました。しかし、今回の支援により考え方を変えることが出来ました。今は大学に行って、自分の可能性を試してみたいです。自分は将棋が得意なので、もっと上位を目指し、ふるさとを将棋で活気づけたいと考えてます。皆様、ご支援ありがとうございます。これからも頑張っていきたいので、見守っていて下さい。（高2）■皆さんの真心に感謝し、必ず自分が納得する夢を叶えたいです。（高2）■被災地のために募金をして下さってありがとうございます。復興したとは言えないですが、震災があったということを忘れないで欲しいです!（高3）■ありがとうございました。これから皆さまの期待に答えられるようがんばります。（高3）■募金をしてくれたみなさんのためにも勉強・進学・日々の生活を精一杯がんばろうと思います。本当にありがとうございました。（高2）■進路達成の為に日々勉強と努力をしていきたいと思います。（高1）■募金してくださりありがとうございます。僕は数学の教師になるという夢を持っています。この夢の実現のために毎日勉強等を頑張っていきたいです。（高1）■今回、本当に皆さんの優しさに助けられています。地震があり、日本人の人間性の素晴らしさを改めて感じました。感謝しています。（高3）■たくさんの支援、本当にありがとうございました。まだまだ復興までの道のりは遠いですが、応援してくださった皆様に報いるためにも力を合わせて頑張ります！■みなさんの支援のおかげで心に少しずつゆとりができ、これから進学するにあたってみなさんへの感謝の気持ちを忘れずに頑張ります!本当にありがとうございます!!（高3）■みなさんほんとうにありがとうございます^^)！期待に応えられるよう精一杯楽しく高校生活を送っていきます。（高2）■おかげさまで日々の学校生活を楽しんでおります。自分の夢に向かって更に勉学に励みたいと思います。（高2）■震災後、進学という夢を諦めていました。でもこの奨学金のおかげで来年度進学できることになりました。ローソンさんをはじめ、募金してくださったすべての皆様に感謝し、第一志望の学校に合格できるよう精一杯がんばります！本当にありがとうございます！（高2）■募金してもらったお金が少しでも自分の進学に役に立つように使いたいと思います。ありがとうございました。（高3）■募金をして下さった皆様のお蔭様で、夢に向けて一歩ずつ進むことができます。心より感謝申し上げます。高校卒業後は就職を希望していますが、少しでも恩返しができるよう頑張ります。（高2）■皆様の暖かいご支援のお蔭で夢に向かって頑張っています。朝は寒いし眠いし起きるのが大変つらいですが、避難所での生活を思い出し毎朝勉強しています。感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張ります。（高1）■ありがとうございます。と何度言っても足りないほど、支援してくださった方々への感謝の気持ちは絶えません。私は大学の看護学部に進み、多くの経験を積んだ後、地元で保健師として地域の方々の心の復興を助けていこうと考えています。これからも応援よろしくお願いします。（高1）■震災が起こり、実家も母の経営する店も津波によって流されてしまい、大学に進学できるのか不安でいっぱいだった時、この奨学金のことを知り奨学生となることができました。このような機会を東北の学生たちに与えてくださったことを本当に感謝しています。東北の復興へ向けて、皆さんの応援があることを忘れずに頑張っていきたいと思います。（高3）■昨年の震災で全国のボランティアの方から支援していただき感謝しております。11ヶ月経った現在でもこの様な企画に感動をしております。この不景気の中において募金をしていただいている方には心より感謝していると共に、あってはほしくは無いのですが、何処かで災害が起きた時は必ず恩返しをしたいと決意しております。（高2）■皆さんの募金のおかげで、今、将来に向けて頑張ることができています！本当にありがとうございました！（高1）■東日本大震災を乗り越え、再び笑顔を取り戻し、暖衣飽食な生活が現在できるのもこのご支援のおかげです。自分のためではなく、社会への支援としても頂いたものを使いたいと思います。ありがとうございました。（高2）■地震が怖くて眠れない夜もあったけれど、いろんな人の支えがあったからこそ水や電気が普及した今があるのだと感じます。言葉では感謝しきれない程ですがありがとうございました!!!（高2）

卒業した奨学生からのありがとう

2012年春、48名の奨学生が、社会へと飛び立っていきました

■『夢を応援基金』には、助けられました。**私の様な人がみんな助かった**と思います ■『夢を応援基金』にて奨学金を給付され、**安心して授業や実習を受ける事が出来た**のも、お陰様と感謝申し上げます。私は高校を卒業することができ、これから就職しますが、**大きな夢に向かって頑張る**ことができます。奨学金でとても助かりました。本当にありがとうございました。 ■今まで本当にお世話になりました。**夢を実現できるよう、必死に頑張っていきたい**と思います ■この度は『夢を応援基金』をありがとうございました。作文で書いたとおり**自分の夢を叶えるために大型漁船に就職する事ができました**。基金は学校から遠い町へ避難しておりましたので通学費に使わせていただきました。 ■この度、無事に就職することができました。たくさんの方々に応援していただき、大変感謝しております。震災にあい、辛いこともありましたが、**前を向いてしっかりと歩いていこうと思います**。本当にありがとうございました。 ■地震で家、財産、制服を流されてしまった私は、**『夢を応援基金』のおかげで、無事高校を卒業し、就職をすることが出来ました**。今まで支えてもらっていた存在から、困っている人を支えることができる存在になります。本当にありがとうございました。これからも夢を持ち、夢を追い続けます。 ■震災で全壊になり、大変な思いをしました。そこで少しでも前向きで行動を考えていた時、このような『夢を応援基金』のお話を頂き、うれしく思いました。**地元で就職が決まり、今後頑張っていきます**。ありがとうございました。 ■『夢を応援基金とても助かりました。震災の前、ローソンでアルバイトをしていましたが、**震災が来てお金がない、アルバイトをしたいけどアルバイトをする所がないというところに、奨学金をいただけるなんて**、とても嬉しかったです。本当に感謝しています。ありがとうございました。 ■**入社までに車の免許取得が条件**でしたが、この**奨学金があったので自動車学校に通うことができました**。無事に取得することができ、4月から社会人になりました。感謝の気持ちを忘れず、一生懸命働きたいと思います。ありがとうございました。 ■**おかげさまで、卒業できました**。ありがとうございました。 ■本当にたすかりました。**家もなくなり、仕事もなくなってしまい、学校に行かせることも出来なくなる**と思い心配しました。本当は専門学校に行きたかったらしいのですが、家の事を考えると難しく、就職させる事にしました。このような**奨学金は本当に助かります**。ありがとうございました。 ■地元で復興のため微力ながら頑張っています。 ■**基金のおかげで無事高校を卒業する事が出来ました**。中退させる事なく、将来の仕事に力強く向かって行く考えが出来、本当にうれしく思います。■全て基金のおかげで、自分の**パティシエになる夢に向かって進み始める事が出来ました**。ありがとうございました。 ■避難続きで仕事もなく･･･私立高校の学費が高く･･･就職準備やら車の免許とかで**一番お金の掛かる時期で、今回の『夢を応援基金』は大変ありがたかった**です。本当に本当にありがとうございました。母子家庭で、母の介護をしながらなので、本当に助かりました。 ■この度は奨学金を頂き**ありがとうございました**。おかげさまで会社にも入社でき、今では一生懸命に仕事を頑張っております。今後は福島の復興のためにもがんばりたいと思います。本当にありがとうございました。感謝しております。 ■募金をくださった皆様、**夢実現にむかって頑張ります**。ありがとうございました。 ■**皆様のおかげで前へ進むことができました**。ありがとうございました。 ■１年間、ありがとうございました。大変助かりました。原発事故で息子の通っていた学校が休校になり、**大きな不安を抱え、後先が全く分からなくて混乱した状況**で、金銭的な事も考えず、避難先の学校に転校させました。奨学金は、学費と自動車学校の教習費の一部として利用させていただきました。**おかげ様で息子は就職が決まり、一歩前進**したところです。私達より大変な方が大勢いると思います。その方達を支えてあげてください。事務局一同様、本当にありがとうございました。これからも頑張ってください。 ■今回は支援ありがとうございました。学費や生活費に使わせていただきました。**おかげさまで無事に高校生活を終え卒業することができました**。またこれからは支援していただいた方への感謝を忘れず、父と力を合わせて家計を支えて行きたいと思います。１年間支援していただきありがとうございました。 ■『夢を応援基金』のおかげでジュニアマイスターゴールドを取得し卒業することができ、そして**、希望する会社に就職する事ができました**。募金をくださった皆様、事務局の皆様、ありがとうございました。今度弟が自分の夢のため気仙沼から仙台の高校に進学する事になりました。**ボクのようにこの『夢を応援基金』で夢に向かって進んで欲しいと思います。ボクが頑張れたように**。 ■おかげさまで無事に就職が決まり、高校を卒業することが出来ました。ありがとうございます。 ■通学用のバスの定期代などに使わせていただきました。そのおかげで助かりました。ありがとうございました。 ■専門学校へ進学を希望していましたが、震災と原発事故に依り、就職することになりました。でも**親に負担をかけることが少なく奨学金でこの１年間とても助かりました**。全国の皆様の支援は大変感謝しています。本当にありがとうございました。現在は就職先で元気に将来の夢と希望を持ち頑張っています。 ■**『夢を応援基金』のおかげで大変助かりました**。これからの人生を有意義なものにしていきたいです。ありがとうございました。 ■昨年起こった東日本大震災の津波で自宅が流出し、家庭の事情もあり**家計も苦しく大変なときに、『夢を応援基金』からの奨学金給付をしていただいたおかげで無事に卒業を迎えることができ、おかげ様で就職も自分の希望の事務職に就くことができました**。本当にありがとうございました。 ■**震災があったけど、『夢を応援基金』のおかげでがんばることができました**。ありがとうございました。心より感謝いたしております。いつか私たちも誰かのために役立てるようがんばっていきます。 ■**無事卒業する事ができました**。就職も地元の建設会社に決まり**これから復興のために頑張ります**。本当にありがとうございました。

基金運営活動収支報告

「夢を応援基金」活動収支計算書（2011年4月～2012年3月）

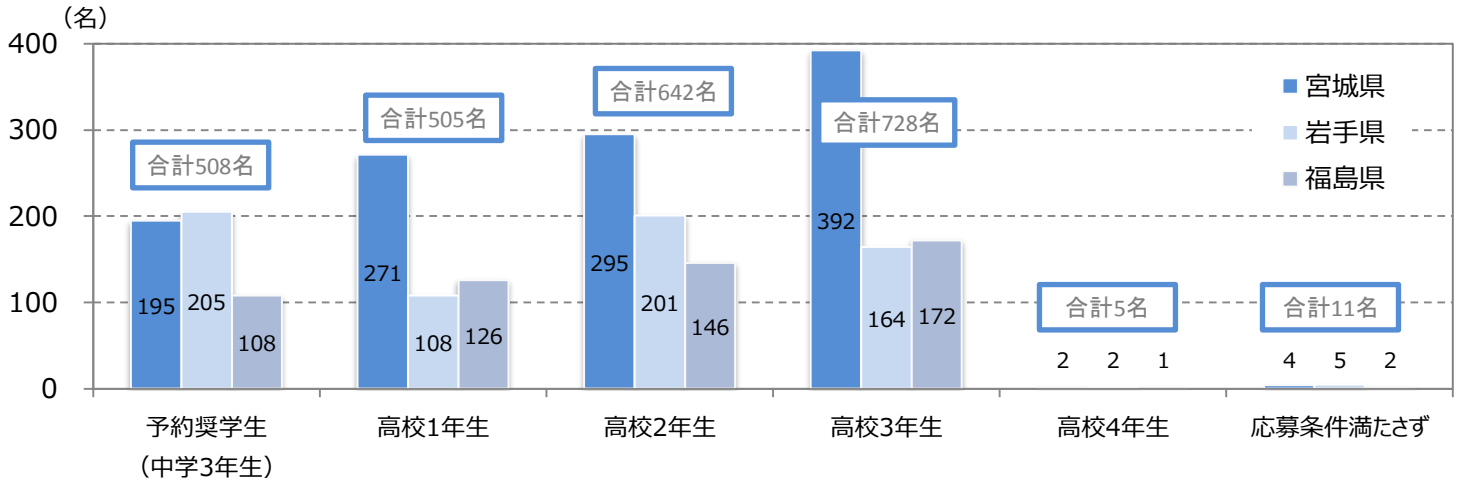
（単位：円）

寄付金等収入			**¥651,457,368**
ローソン拠出金	**¥200,000,000**		
店頭募金	**¥328,366,457**		
ローソン店頭募金		¥328,098,168	
麺食関係		¥268,289	
復興イベント募金	**¥15,167**		
寄付つき商品*	**¥111,054,875**		
Pontaポイント募金	**¥2,354,698**		
ローソンオーナー福祉会	**¥7,990,376**		
ローソン社員募金	**¥1,152,218**		
チャリティ・プラットフォームを通じての寄付・募金	**¥523,577**		
旺文社		¥429,212	
チャリナビ		¥94,365	
その他収入			**¥23,630**
受取利息		¥23,630	
収入合計			**¥651,480,998**
奨学金・支援金支出			**¥214,164,000**
奨学金（9月開始時3万円/人、841名対象、1名途中停止）	**¥176,520,000**		
一時支援金（現金3万円/人、1,035名分）	**¥31,050,000**		
一時支援金（プリペイドカード6千円/人、1,040名分）	**¥6,240,000**		
未配布プリペイドカード	**¥354,000**		
基金運営支出			**¥17,231,560**
基金設立準備費用（告知、募集、審査、結果通知含む）	**¥8,648,992**		
基金運営管理費用	**¥4,165,940**		
奨学生情報管理・連絡システム構築費	**¥1,810,050**		
ソフト支援（サポートプログラム）費用	**¥2,224,168**		
イベント開催		¥982,214	
自立支援ハンドブック配布		¥1,241,954	
奨学金等振込手数料	**¥382,410**		
支出合計			**¥231,395,560**
次期繰越金			**¥420,085,438**

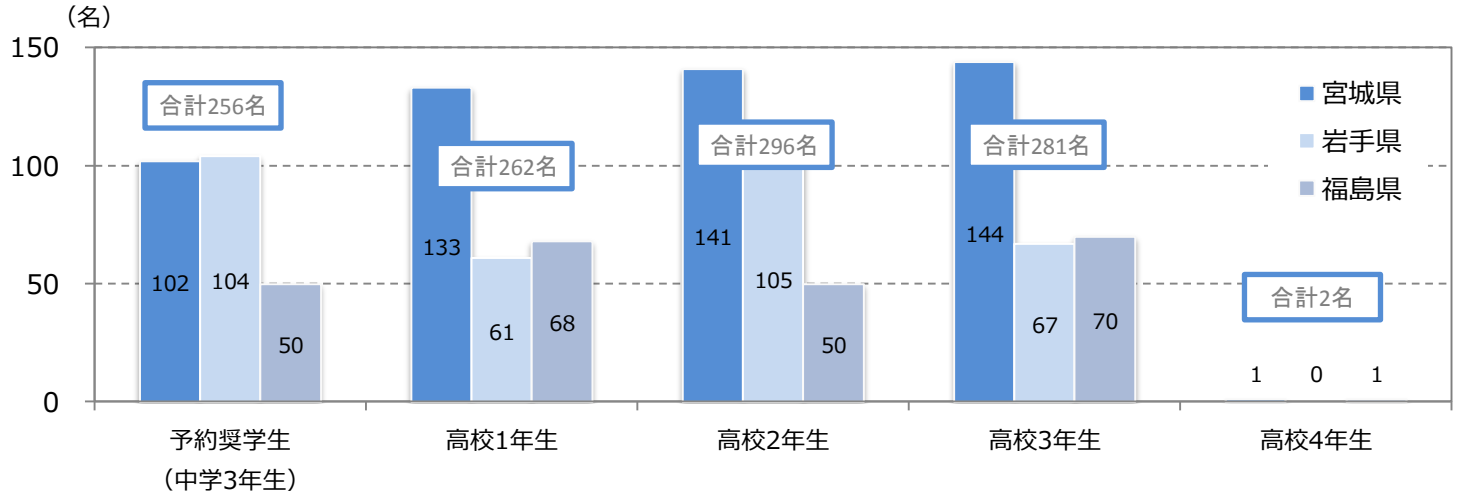
*寄付つき商品の販売によるご寄付は、下記の企業のご協力によるものです（順不同）
株式会社麺食、ロッテ商事株式会社、株式会社明治、森永製菓株式会社、カルビー株式会社、株式会社おやつカンパニー、ヤマザキナビスコ株式会社、株式会社不二家、株式会社ローソン

奨学生等の状況

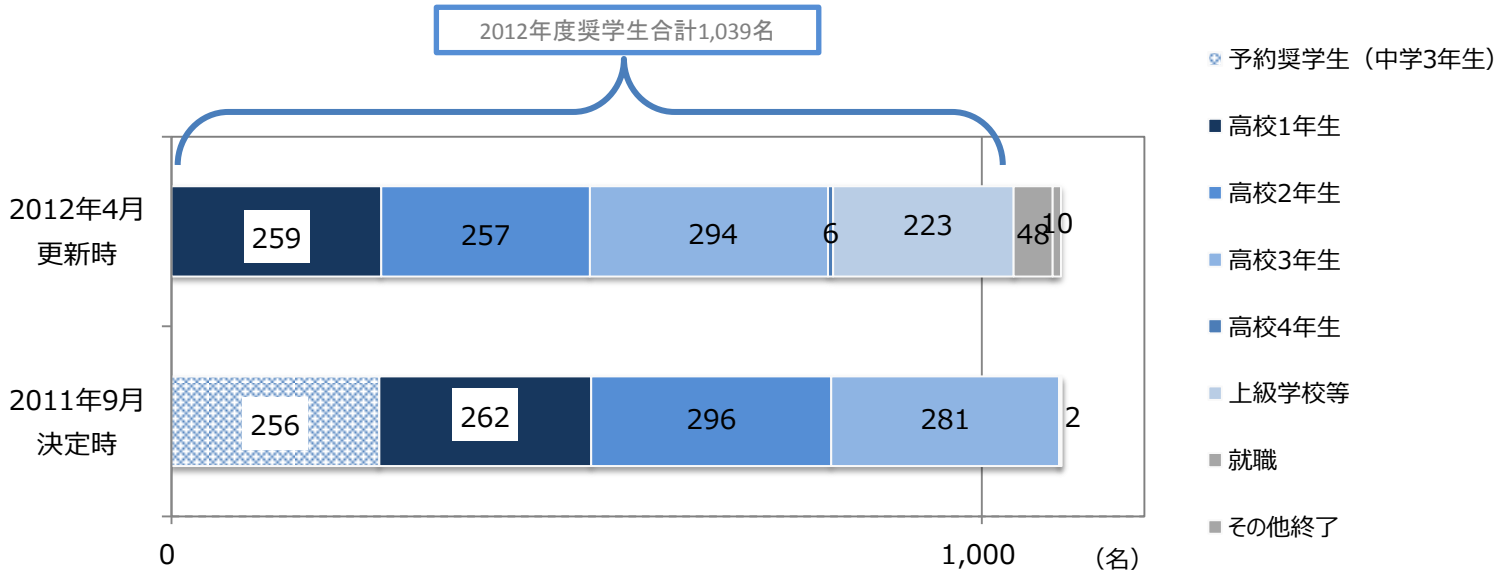
応募数内訳（合計2,400名。3県外からの応募だった1名は下記のグラフに含まれていない）



奨学生決定数内訳（合計1,097名。2011年9月末現在）



奨学生推移



*各生徒数は、2012年4月の更新手続きにおいて、募集時の情報の訂正等があり、以前に公表されたものと数値が異なる場合があります。